

早稲田大学インクルーシブ教育学会 ニュースレター

2022年（令和4年度） NO.4

『令和4年度実践報告会』

早稲田大学インクルーシブ教育学会では、学校現場でのインクルーシブ教育の実践を報告する場として「実践研究報告会」を行っております。本年度も早稲田大学インクルーシブ教育学会の各部会（私学部会・授業実践部会・学生部会）から、それぞれの現場で実践に取り組まれた方々に報告をいただきました。

講評／ファシリテーター：本田恵子教授

私学部会



「UDLの理論に基づいた小学校算数での実践の成果」

立命館小学校 大橋均氏

アメリカの団体CASTが提案しているUDLの理論を小学校の現場で実践して、個別最適で協働的な学びを具現化した取り組みについて報告いただきました。

算数の単元末のテストで点数が全体的に向上するとともに、児童が「学んだことが役に立つ」という学習の有用感をもつようになるなど、1学期間の取り組みでも児童の学力や意欲の変容が見られた。一方で、ペーパーテストの点数だけでは知識が身に付いただけとみることもでき、本当の意味で児童の学力が高まったと言えるかは明確でない。児童の思考力を育てていくような授業や問いの立て方を今後も追及していきたい。

授業部会



「校内通級における包括的なアセスメントに基づく学習支援とSSTの効果」

公立高校 教諭

校内通級における、アセスメント、個別最適化の学習支援、PA（プロジェクト・アドベンチャー）の手法を活用したSST（ソーシャルスキルトレーニング）の取り組みと学内、学外機関との連携の課題について報告いただきました。

早稲田大学と連携しながら、アセスメントに基づいた学習のサポートや、SSTを行った結果、参加した生徒たちにクラスメートと学校行事について話し合うなどの変化も見られた。早稲田のサポートがなくても校内でこういった実践が継続できるよう、教職員が心理検査の取り方を学ぶなどして準備を進めているが、データの解釈などまだ難しい部分があるので、これからも学び続けていきたい。

学生部会



「GEMS を活用したソーシャルスキルの育成の取り組み」

早稲田大学教育学研究科 石橋 玖美 氏

本学会でも何度か紹介している科学と数学の体験学習プログラム GEMS (ジェムズ) の中で、楽しみながら思考力を働かせ、共感性や協働した課題解決が進みやすくなるプロセスを、小学校高学年を例に紹介いただきました。

夏休みに 5 日間連続(初日と最終日は対面、中 3 日間はオンライン)で、毎日 90 分の GEMS ワークショップを実施したところ、ストレス耐性が低く学校に行けていない男児がグループメンバーの顔を見て話す時間が増え、他者の話に耳を傾けるようになった。話す・聞くというスキルは伸びたものの、話が煮詰まってくると話し合いを放棄してしまうところは変わっておらず、ストレス耐性を育てるようなプログラム構成や介入が併せて必要であることが示唆された。

発表が終わるごとに、ポイントとなるところをファシリテーターである本田先生が抽出し、校種ごとに分かれたブレイクアウトルームでディスカッションしました。授業部会の発表における通級の課題、特に教科学習への落とし込みの手立てには私学部会の発表にあったような UDL 実践が、私学部会の発表で課題であった思考力の育成には学生部会の発表にあった GEMS のアプローチがそれぞれヒントになるのではないかなど、各取り組みで挙げられた課題に対して、別の取り組みがヒントになるのではといった話がされていました。

発表を聞いての感想や疑問点、フィードバックはチャットに書いて全体に共有し、その中から発表者や本田先生が気になったものをピックアップして補足解説によって深めていきました。それぞれの実践はまだ始まったばかり。ここでのディスカッションが発表者にとっての学びにもなっていきます。

実践報告を通して、参加者が自身の実践をふりかえり、さらにインクルーシブ教育を推進していくためのヒントを得て考え、議論し、学び合う時間になりました。それぞれの現場において一人で実践を続けていくのではなく、本学会を通じて新しい知見や仲間とつながり、より多くの子どもたちに豊かな学びを提供していきましょう。

<参加者から(アンケート抜粋)>



- ・どの提案も興味深かったです。左脳の子にも右脳の子にもわかる伝え方、思考力を働かせる授業、安心できる教室、安心できる職員室を目指したいと思います。アセスメントを活用した IEP、授業づくりができるように少しずつ取り組んでいきたいです。
- ・教師がマインドセットの転換を行うこと、また、児童生徒が適切な自己理解を深め、自身の学びを深めていけるようにするためにできる手立て等、引き続き考えていきたいと思います。
- ・各発表の後にブレイクアウトルームで意見を交換できたのがとても良かったです。聞くだけでなく、アウトプットしたせいか、他の研修会と違い、時間を置いてもまだお二人の内容について考えて続けられています。
- ・各取り組みに改めて考えさせられ、我が校も頑張らないと明日への意欲に繋がりました。